



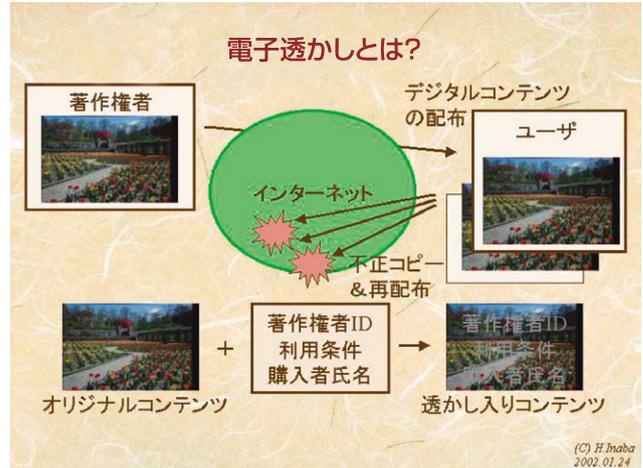
■キーワード

情報セキュリティ 誤り訂正符号 デジタルコンテンツ配信 コンテンツ保護技術
情報埋め込み 電子透かし

■研究の概要

デジタル著作物の著作権をいかに保護していくか、世界的な問題になっています。

電子透かしとは、デジタルコンテンツに著作者情報や利用者情報などを、それとは分からない形で埋め込んでおくことで、デジタル著作物の著作権を上手にコントロールするだけでなく、著作物の多面的な利用を可能にしようとする技術です。

(C) H. Inaba
2002.07.24

■研究・技術のプロセス／研究事例

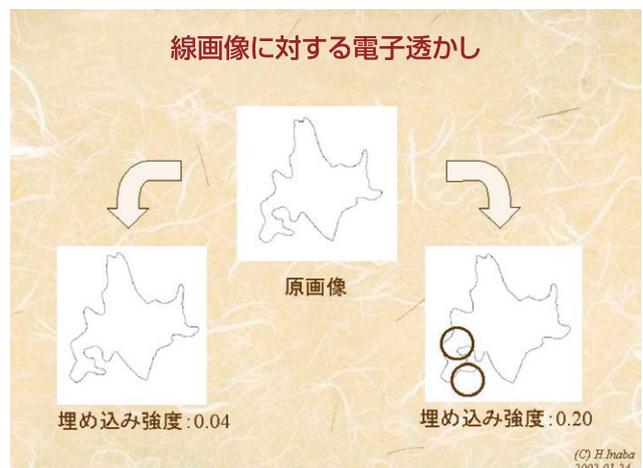
①電子透かしは、著作物が多少編集されたり、加工されたりしても消えてしまわないようにする必要があります。

研究室で開発したハイブリッド型電子透かしは、圧縮や回転、切り取り等さまざまな加工に対して耐性を持っている電子透かしの方法です。



②デジタル著作物には、画像や音楽、コンピュータプログラム等多くの種類があります。画像だけを見ても、静止画像の他、映画のような動画、漫画のような線画など多くの種類があります。

研究室には、これらのさまざまな種類の著作物に対しても、それぞれ適した電子透かし技術の研究成果があります。

(C) H. Inaba
2002.07.24

■セールスポイント

電子透かし技術は、著作権管理への応用はもちろんのこと、秘密情報の埋め込みや、コンテンツの劣化防止(コンテンツが劣化してもある程度復元できる)、コンテンツの改竄検出(コンテンツが不正に改竄されてもそれを検出できる)など、多くの応用があります。

電子透かしの研究
デジタル著作物の著作権管理